GISWOKATSUYOU

農地適性調査について

広島県福山市農林水産課
小澤
OZAWA

プロフィール

福 山 市

Fukuyama City

＜地理と気候 ＞
広島県の最東部、瀬戸内海の中央部に位置
瀬戸内海式気候に属し、温暖で降水量が少ない

＜交通＞
山陽新幹線・高速道路の山陽道・国道2号と、
西日本の重要幹線が市内を横断
国際港湾である福山港を擁するなど交通の要所

目次

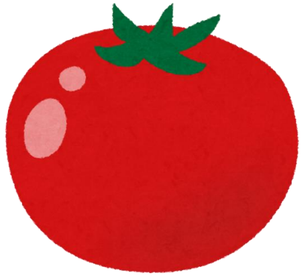
01 調査の目的・背景について

02 調査の概要について

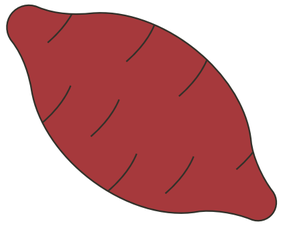
03 調査の結果について

04 調査結果の活用方法について

05 今後の展望について



調査の目的・背景について



01

01 調査の目的・背景について

農地所有者のうち
７０歳以上

63%

離農の意向

76%

福山市農業振興地域整備計画の
策定に係るアンケート(2022年)

01 調査の目的・背景について

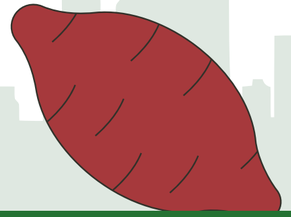
①農地適性の高い効率的かつ生産性の高い営農ができる農地は、農業振興のために経営力のある担い手に農地を集約化

②農地適性の低い（効率的な営農に不向きな）農地は小規模でも収益が確保できる作物の振興や耕作放棄地発生防止のため、農業関連施設への活用を含めて耕作以外の用途に活用するなど、農地の適性に応じた利用を促す

本事業を実施するに至りました。

02

調査の概要について



農林水産振興ビジョン

「持続可能な土地等の利用計画のもと、高齢化する農林水産業者を支援しつつ、次代の担い手に引き継いでいくことで、稼げる農林水産業を実現する」

02 調査の概要について

農地特性

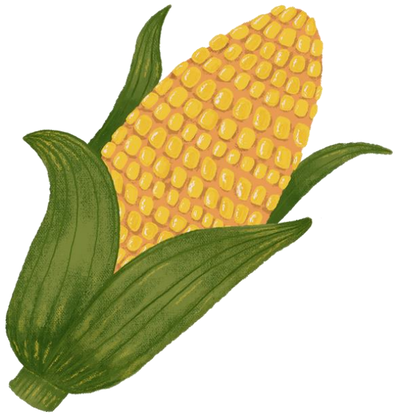
・土壌データ
・農地の高低差

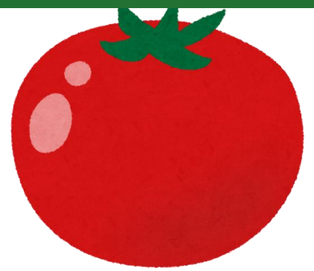
立地

・ICからの到達圏
・ハザードマップ

規模

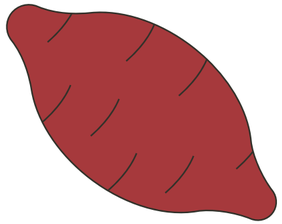
・集約可能な面積

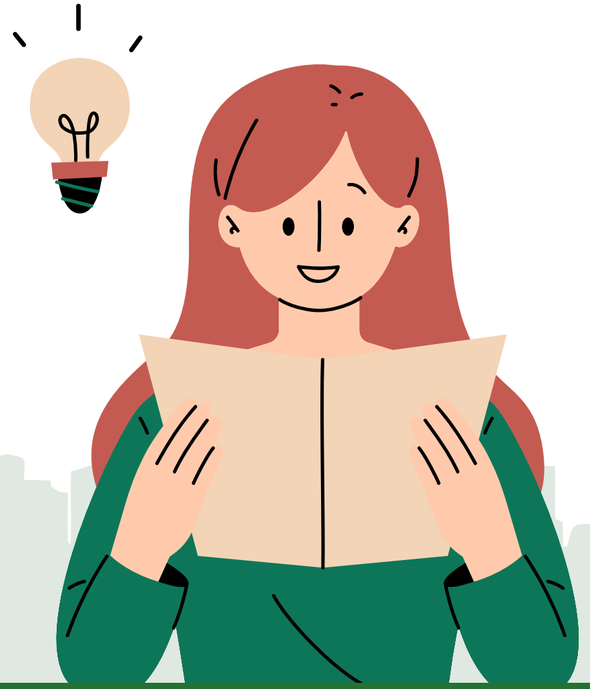




03

調査の結果について



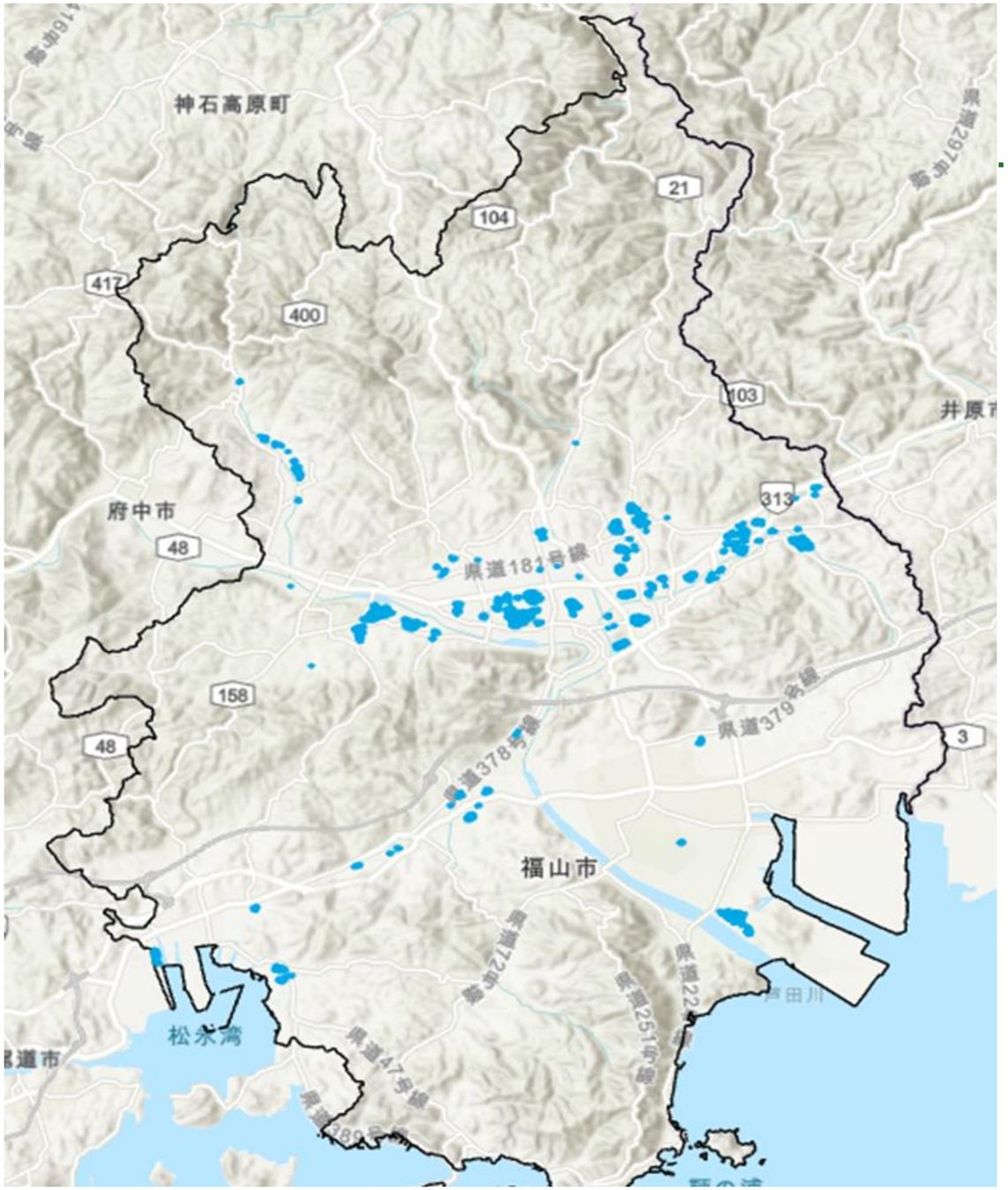


03

調査の結果について

大規模水田
確保可能エリア

水張が必要なため、一定の範囲にある農地を造成した時の勾配が５％以内で、３ｈａ以上の水田が確保できるエリアを抽出

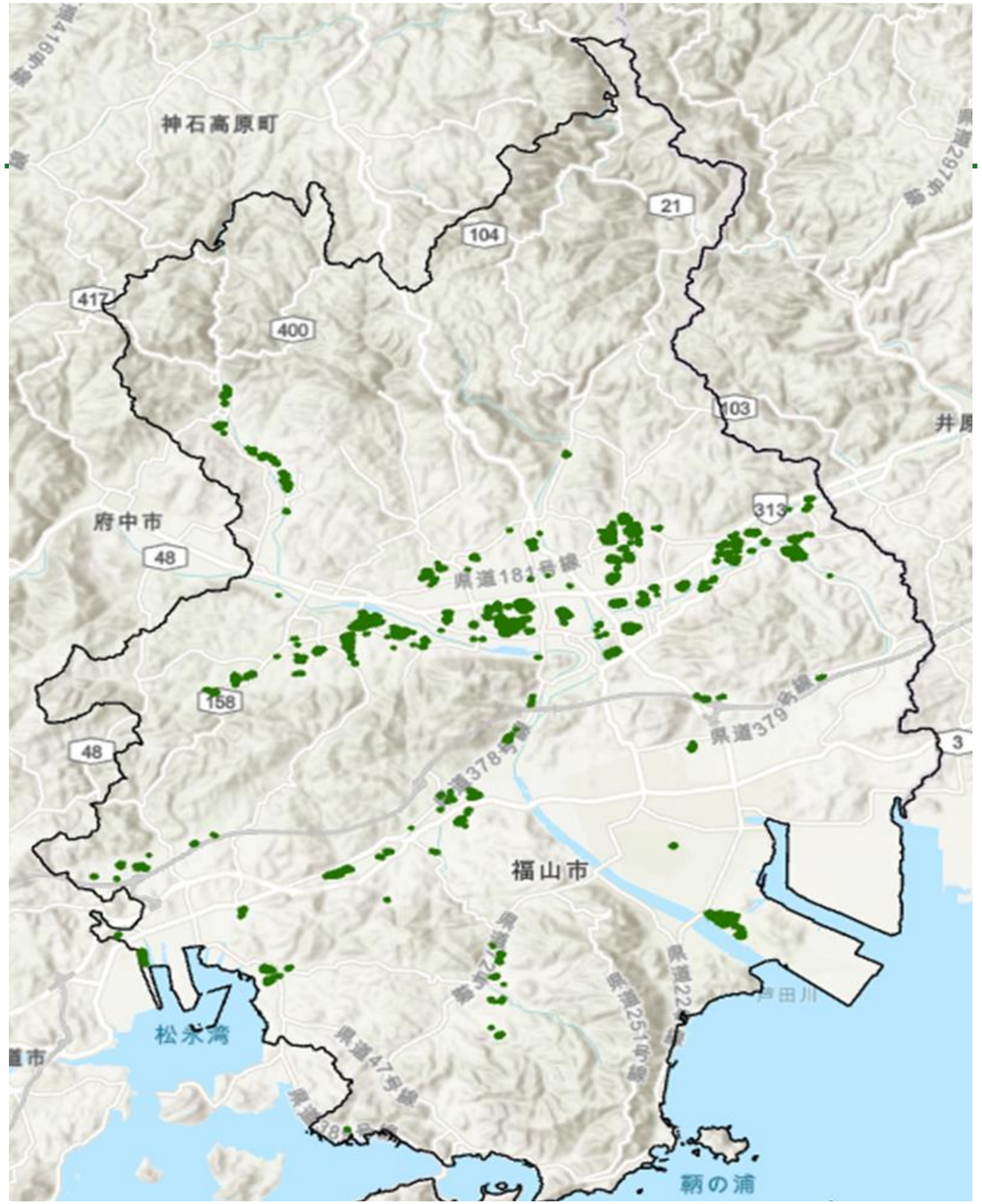


03

調査の結果について

大規模畑地
確保可能エリア

水張が必要ないため、一定の範囲にある農地を造成した時の勾配が１５％以内で、３ｈａ以上の畑地が確保できるエリアを抽出

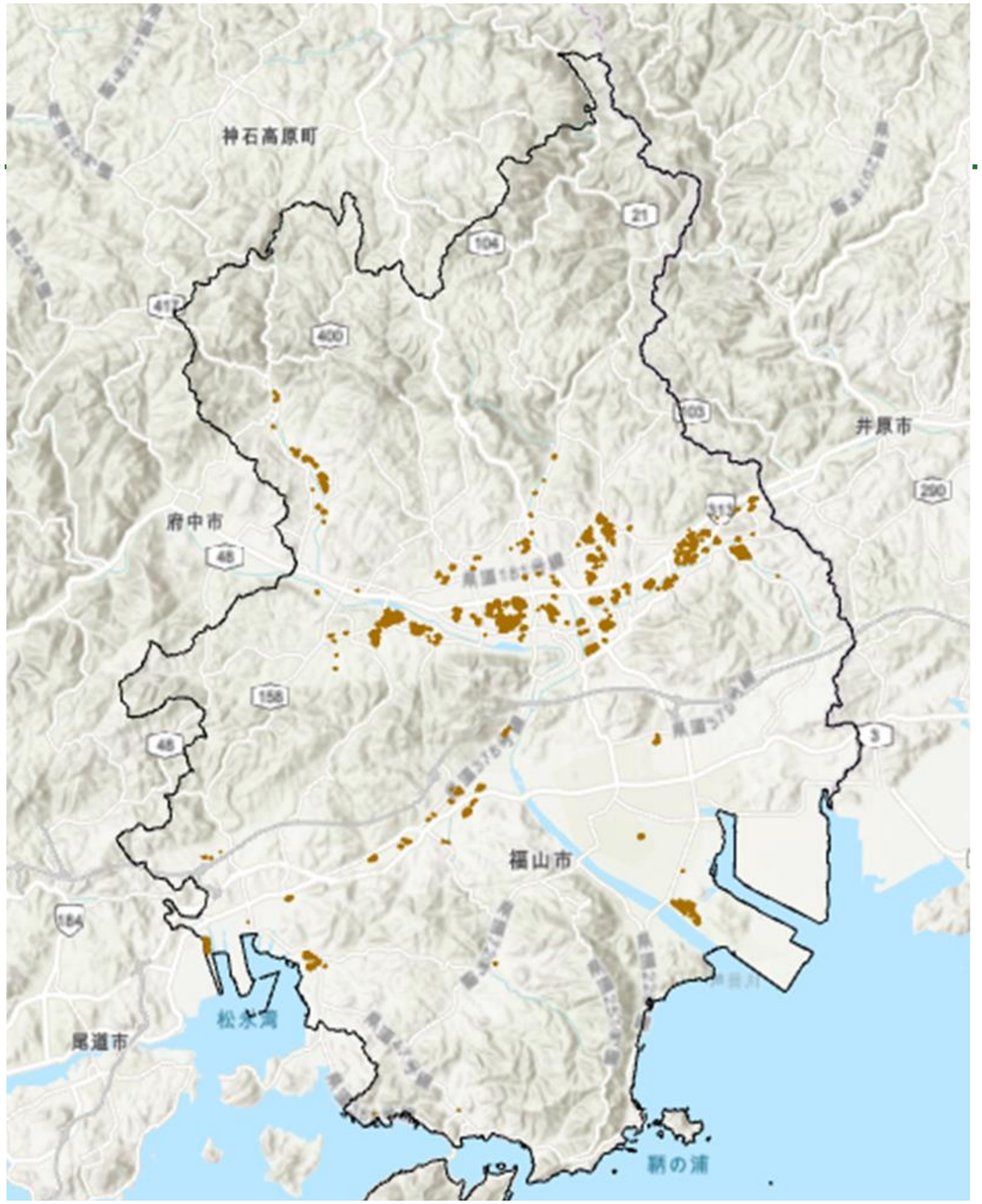


03

調査の結果について

施設園芸用地
確保可能エリア

造成した場合の高低差が、大規模な擁壁の設置が不要な５m以内で、２ｈａ以上エリアを抽出

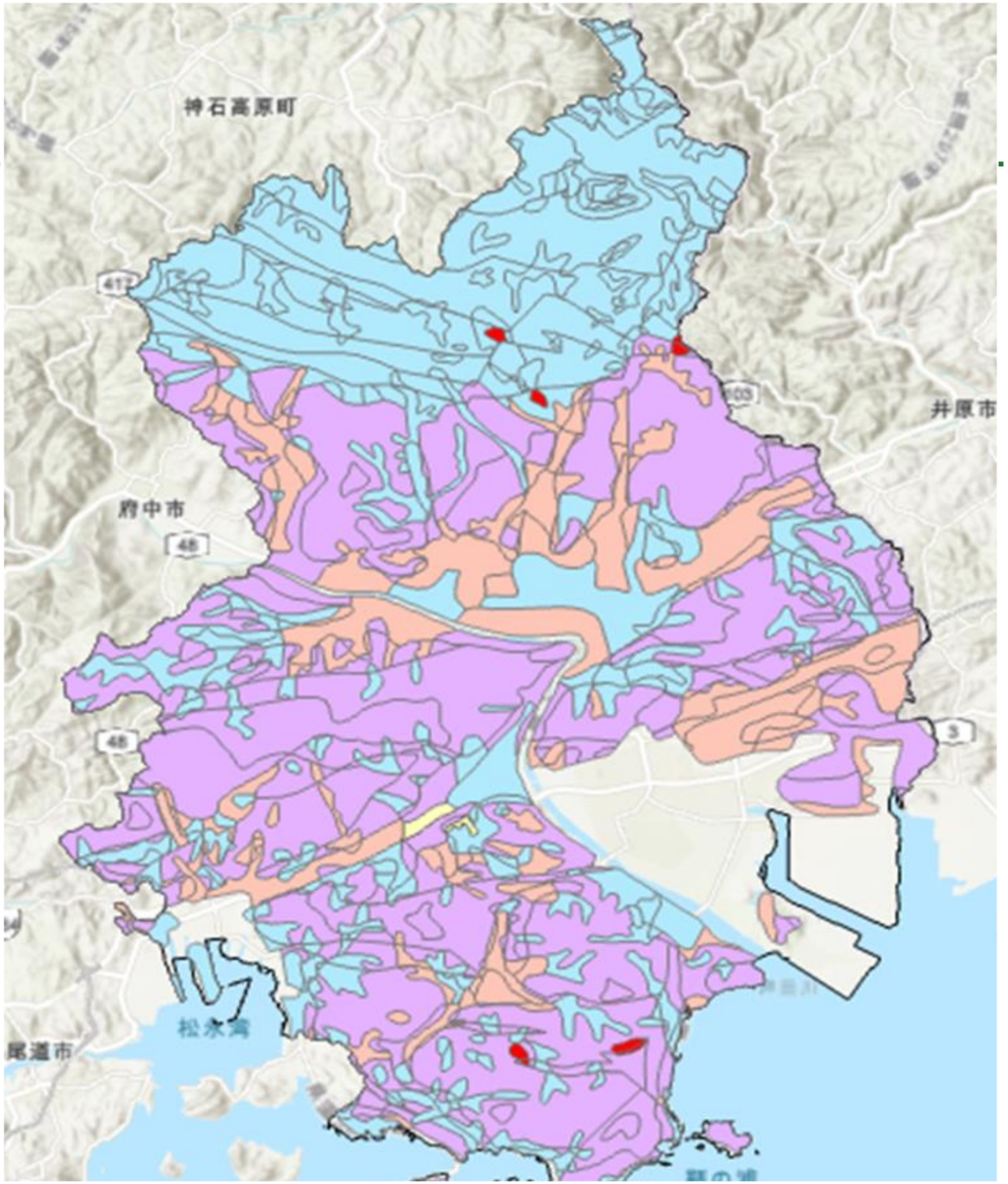


03 調査の結果について

土壌データ

凡例	土壌	作付けに適した農作物の例
●	砂がかった土	かぼちゃ、すいか、まくわ、さつまいも、人参等
●	やや砂がかった土	馬鈴薯、大根、きゅうり、キャベツ等
●	砂や粘土質を適量に含んだ土	トマト、なす、ピーマン、白菜、レタス等
●	やや粘り気のある土	玉葱、空豆、エンドウ、ネギ等
●	粘土分の多い土	れんこん、くわい等

（出典：農研機構「日本土壌インベントリー」）

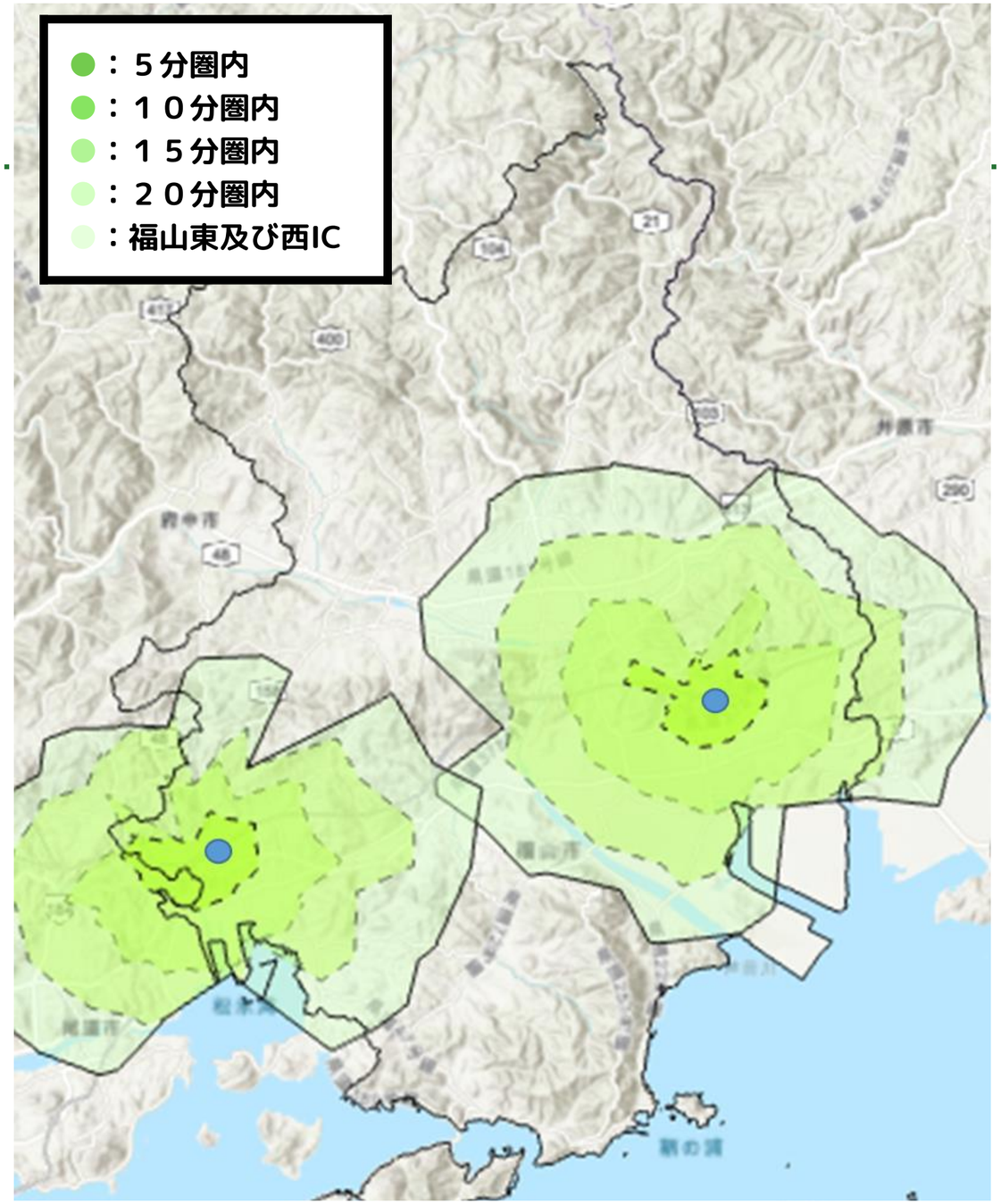


03

調査の結果について

ＩＣからの到達圏

車の平均時速を３０kmとしたときの、
福山東IC 及び 福山西ICから２０分圏内
を抽出

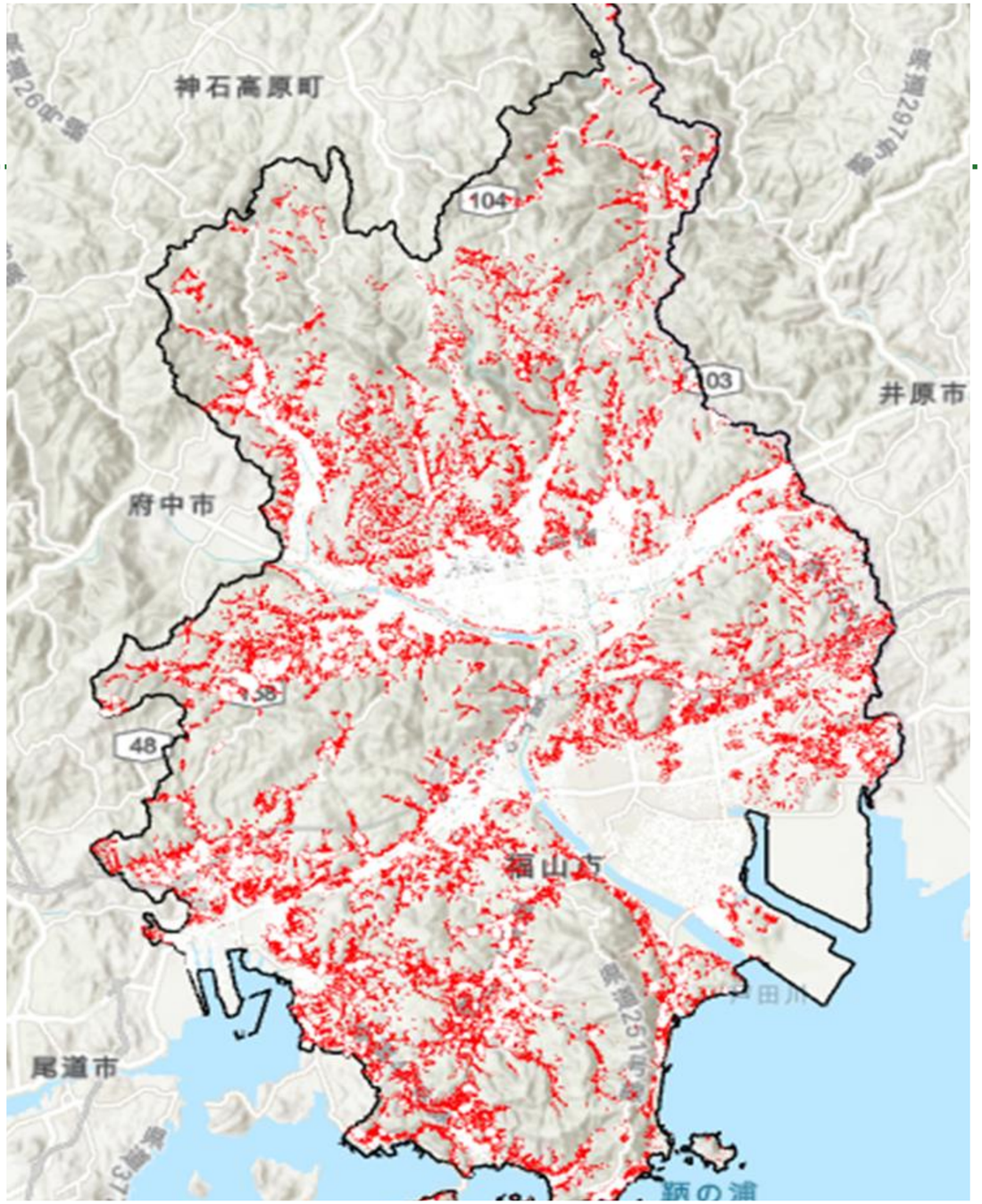


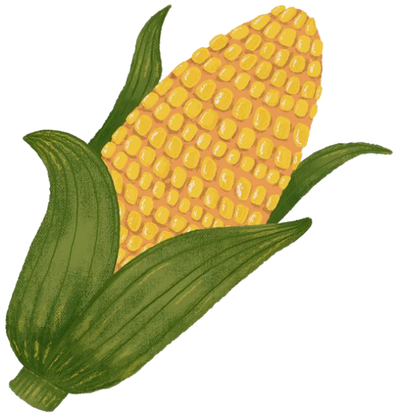
03

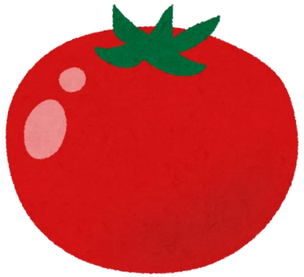
調査の結果について

小規模農地分布図

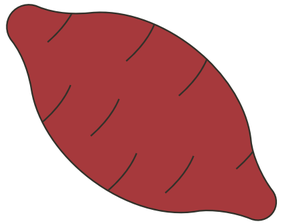
集積・集約化に掛かるコストに見合う生産効率向上が見込めない小規模農地の規模を１ｈａ未満と仮定し抽出







調査結果の
活用方法について



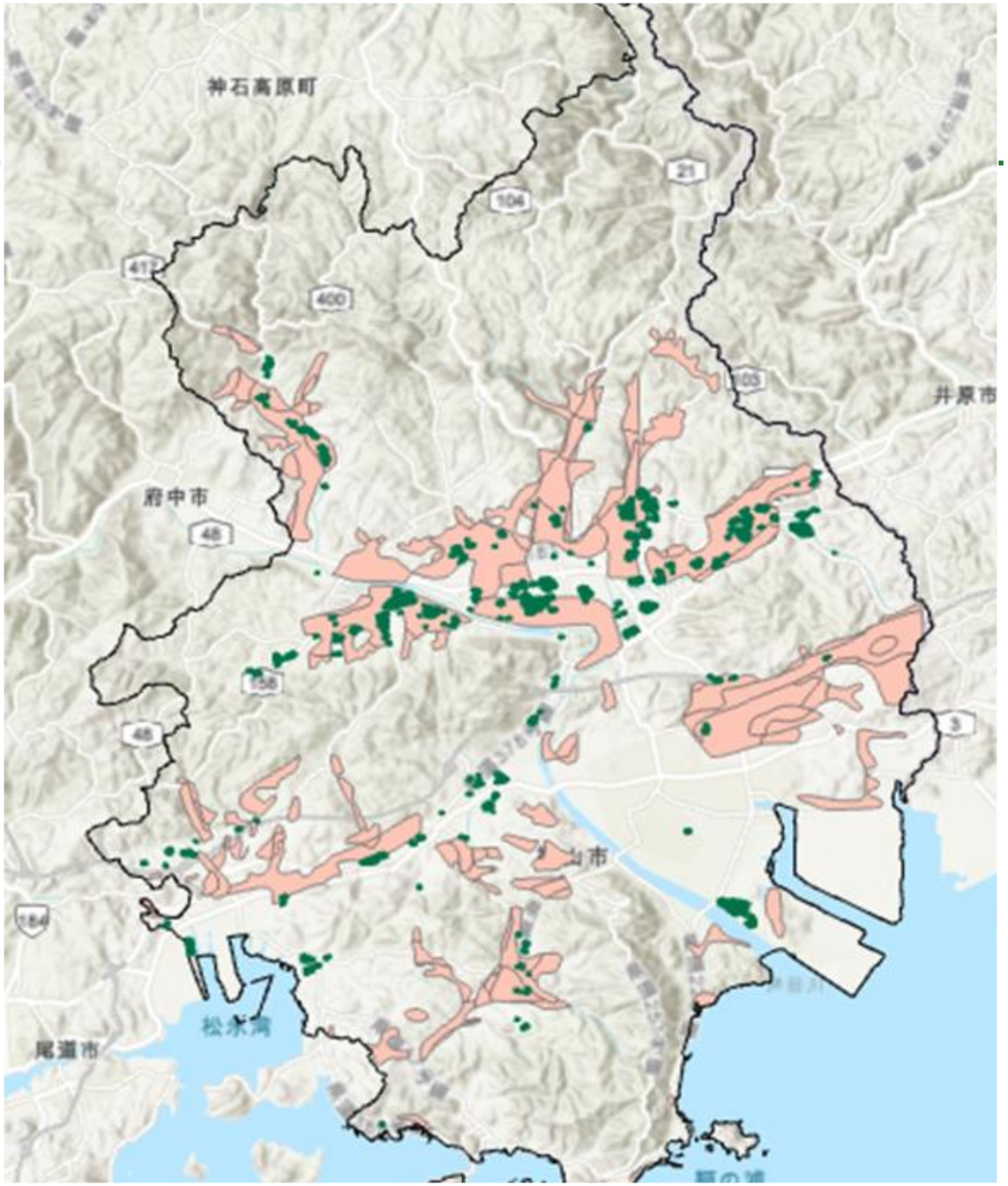
04

04

調査結果の活用方法について

大規模な畑地を
希望する企業の誘致

大規模畑地確保可能エリアのうち、さつまいもの栽培に適する土壌のエリアを抽出

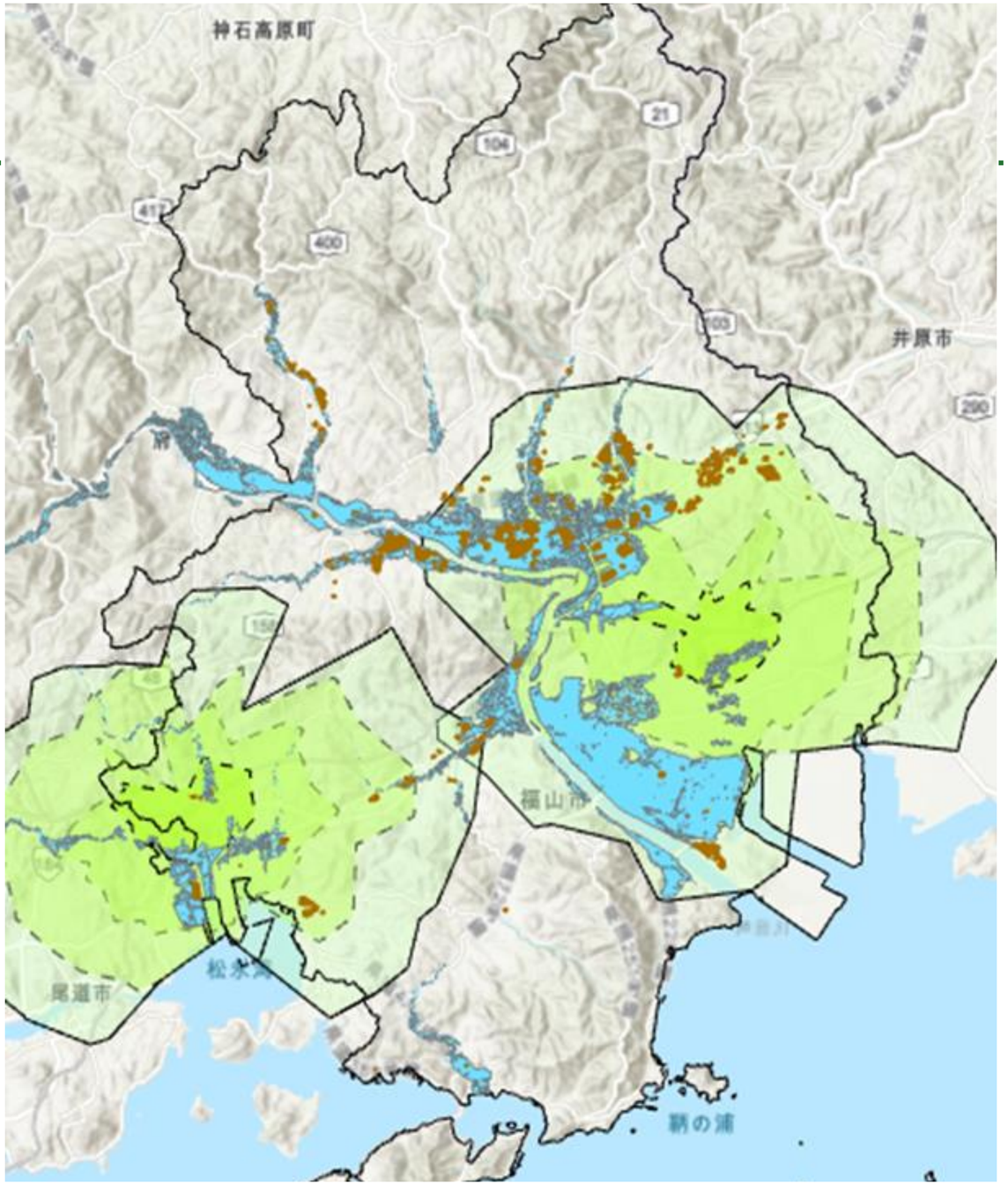


04

調査結果の活用方法について

施設園芸用地を
希望する企業の誘致

施設園芸用地確保可能エリアで、ＩＣから
２０分以内かつ浸水リスクの低いエリア

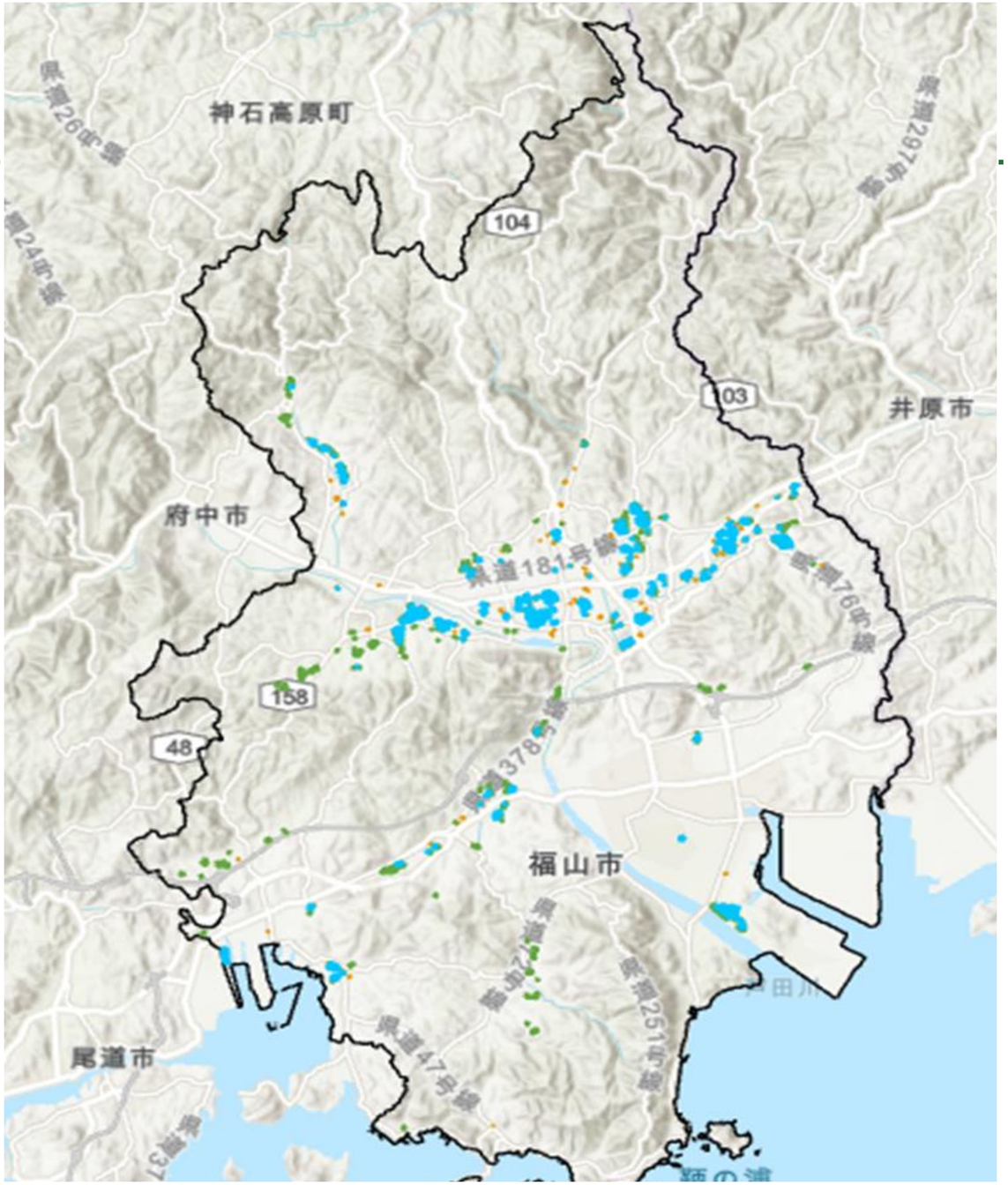


04

調査結果の活用方法について

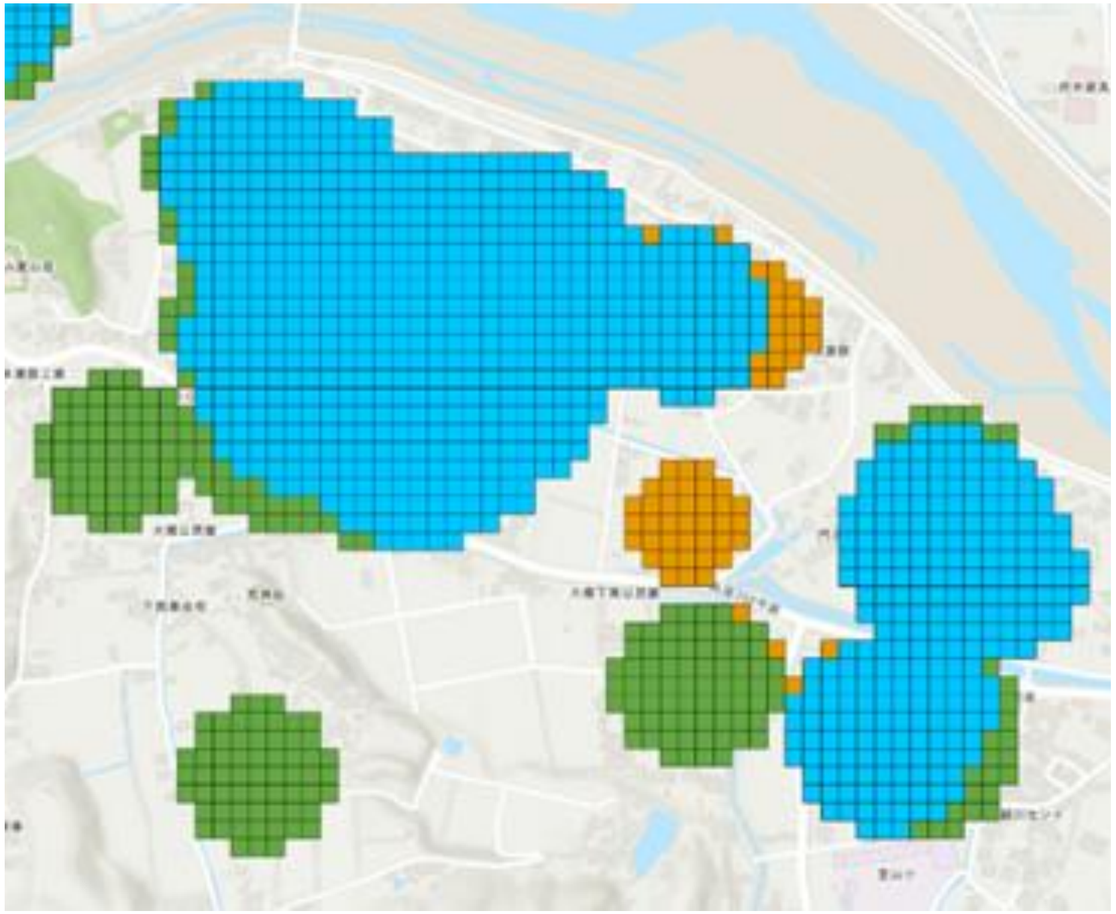
大規模水田・畑地・施設園芸用地分布図

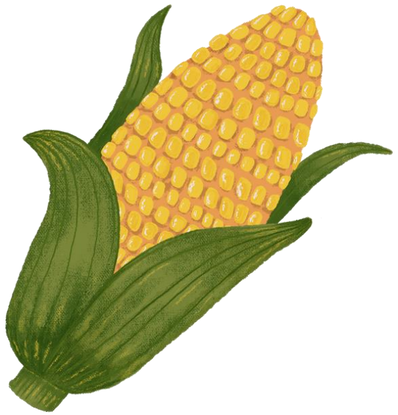
・３ｈａ以上の大規模水田確保可能エリア
・３ｈａ以上の大規模畑地確保可能エリア
・２ｈａ以上の施設園芸用地を重ねて表示

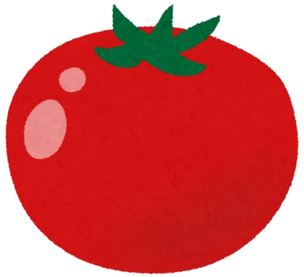


大規模水田・畑地・施設園芸用地分布図

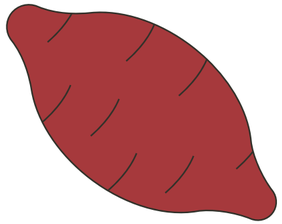
水田と畑地が混在するなどにより、無秩序で非効率な土地利用とならないよう、活用の方向性を検討する必要がある。







今後の展望について



05

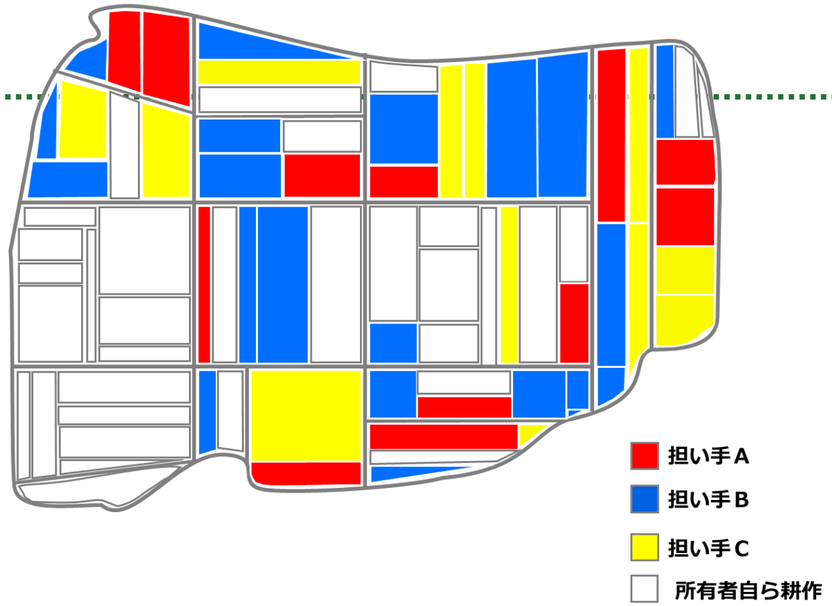
05 今後の展望について

地域計画

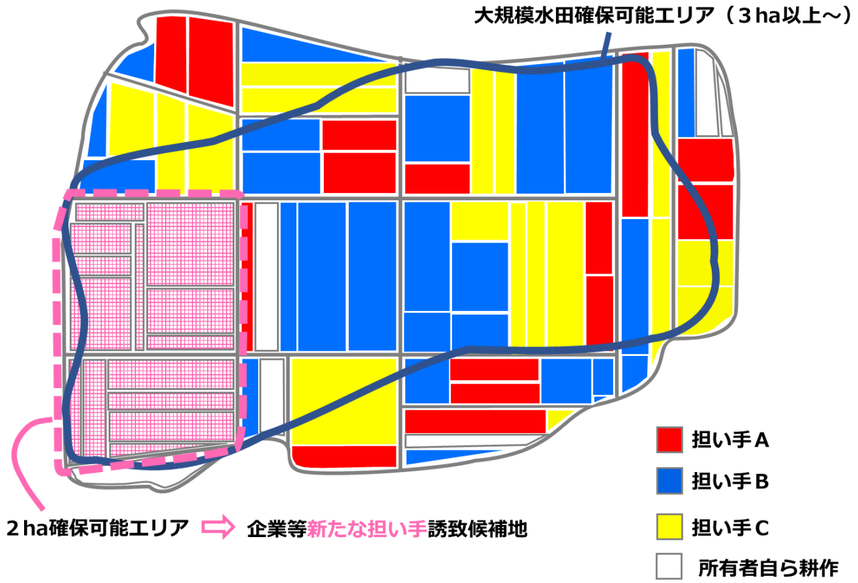
今後の農地利用の意向を把握し、農地所有者と担い手を繋げ、集約化等を行う為に、地域全体で話し合いが必要。

１ｈａ以上の農地集約化可能エリア内の
農地の耕作者 又は所有者を対象に意向調査を行う。

現況地図



目標地図



THANK YOU!

あ り が と う ご ざ い ま し た